

東京都児童福祉審議会
第5回専門部会 事業者ヒアリング

平成30年2月13日

きかせて子育て訪問事業について



足立区子ども家庭部こども支援センターげんき
こども家庭支援課長 高橋 徹

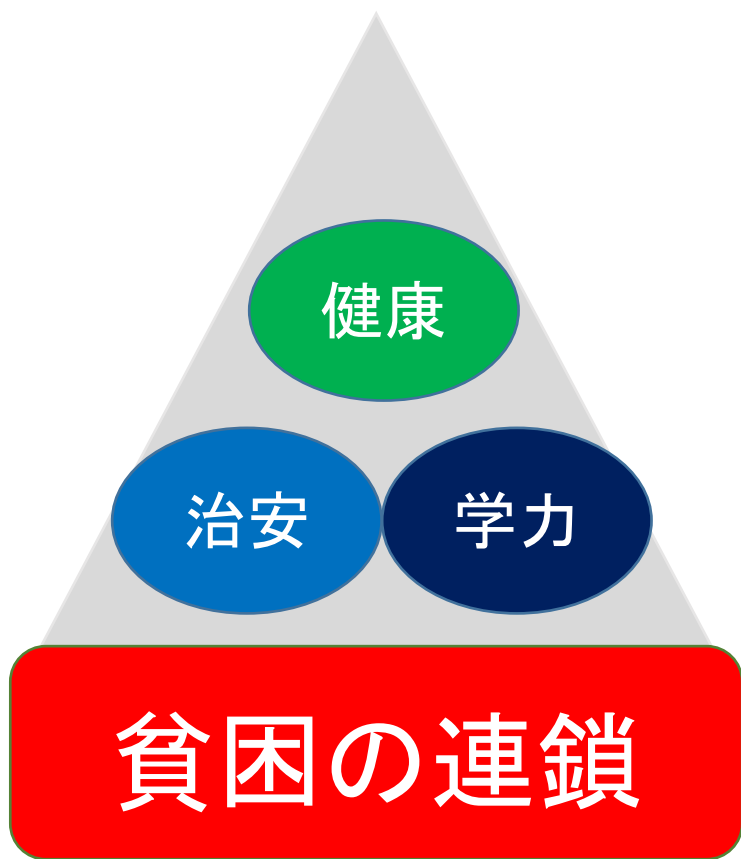
特定非営利活動法人子育てパレット
代表理事 三浦 りさ

1. 事業開始の背景
2. 事業の概要
3. 訪問支援の実績
4. サポーターの募集・養成
5. 行政の支援との連携
6. 事業実施にあたっての工夫点
7. 今後の改善案

1. 事業開始の背景(1)

4つのボトルネック的課題

(克服しない限り区内外から正当な評価が得られない根本的課題)



根底にある共通の原因

「貧困の連鎖」を断つ



未来へつなぐ あだちプロジェクト

子どもの貧困対策実施計画（平成27年度～平成31年度）

柱立て1 教育・学び

学校を「プラットフォーム」に、教育による学力保障や関係機関との連携など学びの環境整備や居場所づくりなど総合的に取り組む。

柱立て2 健康・生活

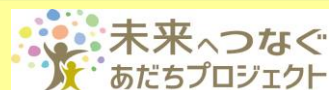
妊娠期から切れ目ない支援を行うとともに、健康格差の縮小を図る。また、保護者や若年者の社会的孤立を予防する。

柱立て3 推進体制の構築

相談機能の連携強化、様々な調査による実態把握・分析、計画の見直し、国・都への積極的な働きかけ、地域やNPO等との連携

1. 事業開始の背景(2)

柱立て2 健康・生活



妊娠期から切れ目ない支援を行うとともに、健康格差の縮小を図る。また、保護者や若年者の社会的孤立を予防する。

●あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト (A-SMAP)

◆妊娠期から産後期の母子保健事業を充実することにより、養育困難や児童虐待を未然に防ぎ、健やかな親子の成長を支える仕組みを「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」と総称します。

◆母子保健コーディネーターによる支援対象妊婦への訪問やケアプランに基づく支援を通じて、妊娠期から切れ目のない母子保健事業を推進していきます。

切れ目のない支援の1つとして、『きかせて子育て訪問事業』を実施！

養育困難世帯の早期発見

妊娠期からの早期発見で適切な支援へ

産前産後養育支援連絡会議
(保健所とこども支援センターげんき)

適切な支援につなぐ

適切な支援により育児困難や児童虐待を防ぐ

足立保健所

●母子保健コーディネーターの配置

母子保健コーディネーターが、妊娠届出時から特に支援を必要とする世帯を把握し、個別プランを作成するなど適切な支援を実施。

●こんにちは赤ちゃん訪問

育児不安が強い、生活環境の改善が必要な場合等に、複数回の訪問を実施。

家庭の状況に応じて、2~3回訪問

●乳幼児健康診査による再評価等

妊娠届などで把握している要支援世帯を再評価するとともに、乳幼児健康診査時に新たに把握した世帯に必要な支援を実施。

妊娠期
↳
乳幼児期

(関連事業) こども支援センターげんき

●きかせて子育て訪問事業

サポーターの訪問傾聴で子育ての孤立感を解消。

●子育てからママサービス事業

産前産後の妊産婦の家事を代行し、出産・育児を支援。

●養育支援訪問事業

養育困難家庭を訪問し、支援計画を作成した上で、相談支援、育児支援等を実施。

●こどもショートステイ事業

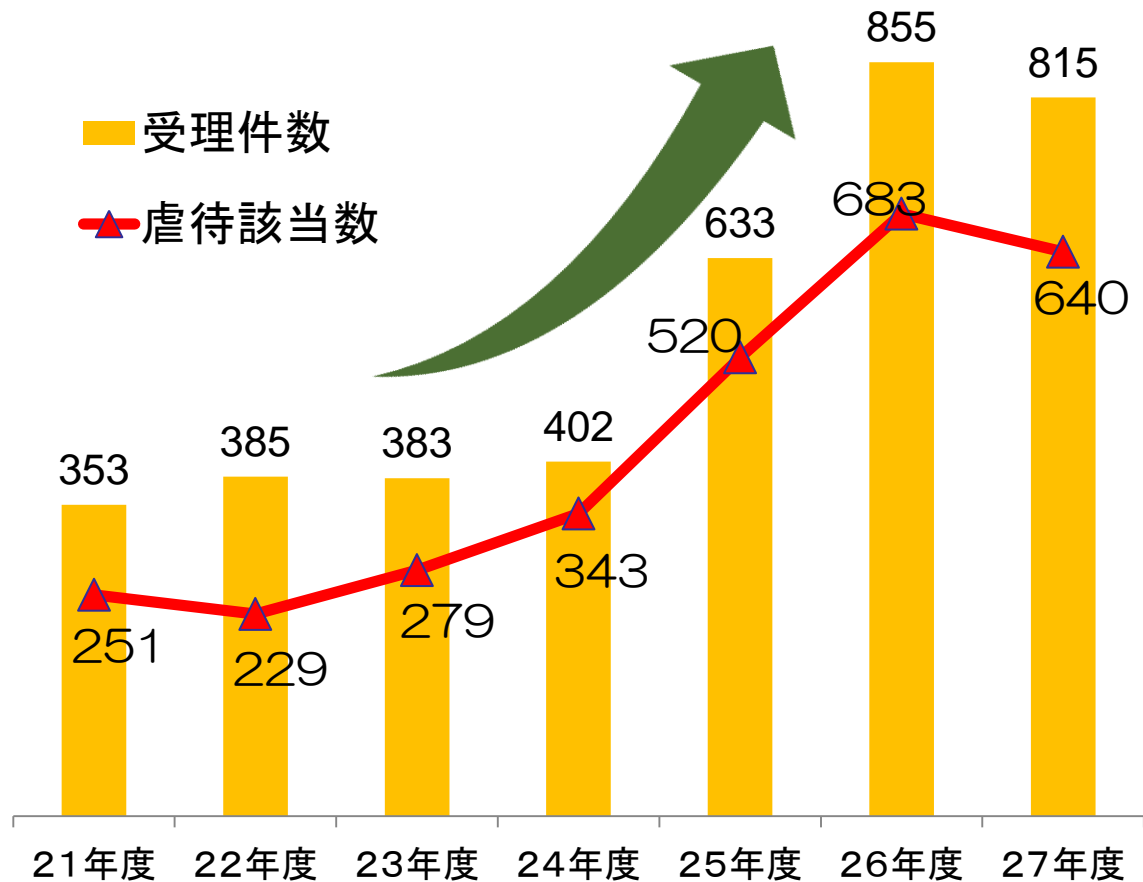
家庭で一時的に児童の養育ができないとき、児童を施設または養育協力家庭宅で預かり、養育。

●あだち・ほっとほーむ事業

地域の協力員が育児・家庭援助、養育支援。

1. 事業開始の背景(3)

I 児童虐待相談件数の急増



II 児童虐待死亡事例の発生

(1) 虐待の発生対応

① 専門人材の育成

- ・ 専門職員の増員など

② 処遇力の向上

- ・ 養育支援訪問事業など

(2) 虐待の未然防止

① 子育て支援事業の充実

- ・ **きかせて子育て訪問事業**

- ・ ホームヘルプサービス事業
- ・ ショートステイ事業など

② 啓発

- ・ オレンジリボンキャンペーンなど

2. 事業の概要

(1) 事業名

きかせて子育て訪問事業

(2) 事業開始

平成28年12月～(訪問支援は平成29年2月～)

(3) 事業実施方法

委託により実施

(委託先:NPO法人子育てパレット)

(4) 事業の目的

出産又は育児における孤立感や不安感を抱えた妊婦又は未就学児のいる保護者に対し、定期的に訪問し傾聴等の支援を行うこと。

(5) 利用対象者

区内に居住する妊婦又は未就学児を養育する保護者で、身近に相談できる者がいないなど孤立しており、子育てに不安感がある者。

(6) 事業の枠組み

① サポーター養成

訪問支援をするサポーターを募集、養成、登録、管理すること。

② 訪問事業

利用者宅をサポーターが定期的(1～2週間に1回を目安)に訪問し、傾聴を主とした支援を行うこと。

(7) 訪問支援の内容

① 傾聴

利用者に対して傾聴を行う。また、求められる範囲で子育ての経験談等により孤立感、不安感の軽減を行うこと。

② 同行

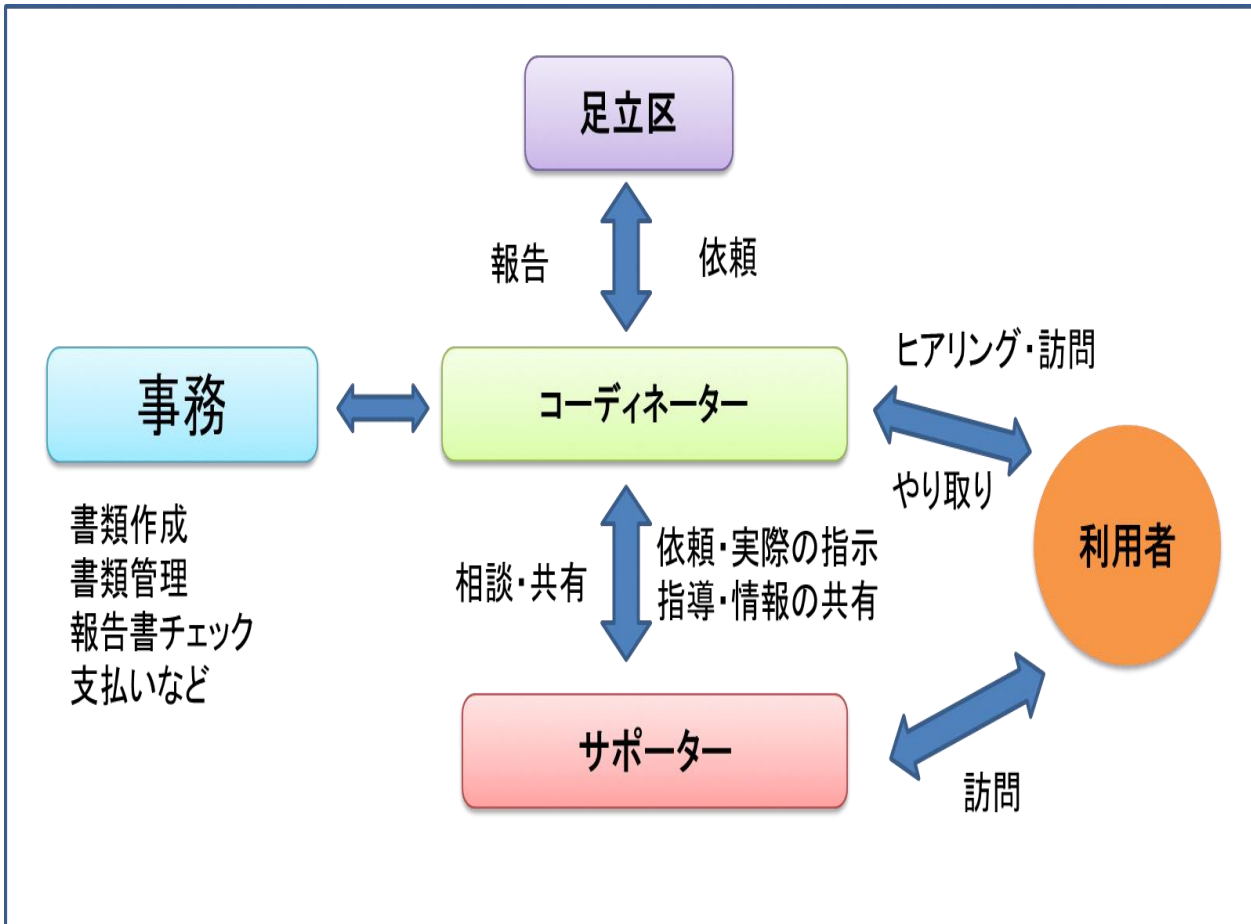
子育てサロンに通えるように同行し、他者との関係作り等の支援をすること。

(8) 訪問支援の期間

3ヶ月を1支援期間とする。(最大、1年まで延長可)

3. 訪問支援の実績

(1) 訪問支援の流れ

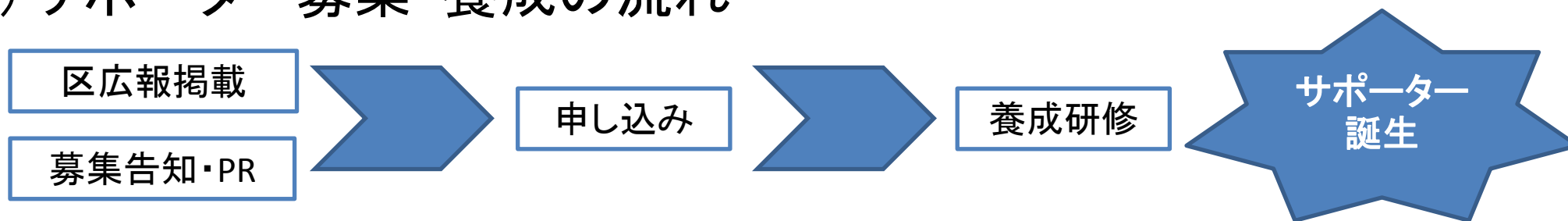


(2) 訪問支援の実績

実施月	利用申請者数	訪問回数
H29年2月	0名	0回
H29年3月	0名	0回
H29年4月	2名	0回
H29年5月	0名	1回
H29年6月	3名	5回
H29年7月	3名	5回
H29年8月	2名	7回
H29年9月	1名	9回
H29年10月	1名	6回
合計	12名	33回

4. サポーターの募集・養成(1)

(1) サポーター募集・養成の流れ



(2) サポーターの募集

実施月	募集方法と計画	対象年齢層	募集実績
H29年1月	<足立区> あだち広報及び足立区ホームページ	50代～60代を中心に、 子育てに手がかからない世代	7名
H29年3月	<NPO法人子育てパレット>		9名
H29年5月	・当団体発行の子育て応援フリーペーパー「カラフル」でのページ告知／足立区内行政施設・民間企業及び店舗等10,000部配布	地域で手助けをすることに興味がある、ボランティア意識が高く積極的な方	8名
H29年7月	・足立生き生き会や女性団体連合会との連携 ・インターネット放送局「Cwave」との連動発信		7名
H29年9月	・その他委託講座での告知 ・足立区コミュニティSNSでの告知		6名
合計			37名

4. サポーターの募集・養成(2)

(3) サポーターの養成

① 研修カリキュラム

・研修時間

2日間で実施(6時間30分×2日間)

・研修科目

「傾聴と寄り添いについて」「家庭訪問での接し方」「現代の母親の特徴・理解」

「産前産後の母親の特徴・理解」「足立区の子育て事情」「実践ロールプレイング」等

② 講師

・NPO法人子育てパレット職員 専門・得意分野の担当

・助産師/保育士/子育て専門講座講師/産前産後講座講師など

※協力者 臨床心理士/障がい・発達障がいの専門家など

③ 実績

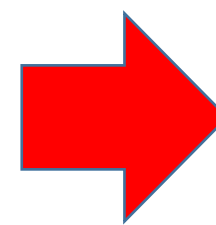
H29年1月	H29年3月	H29年5月	H29年7月	H29年9月	合計
7名	9名	8名	7名	6名	37名

5. 行政の支援との連携

(1) 事業周知の連携

- ① 保健センターの保健師による事業案内
- ② 子育て交流講座の受講者への事業案内
- ③ 足立区安心子育てナビ[※]でのメール配信

※足立区安心子育てナビ：妊娠や育児に役立つ情報をメールでお知らせする区サービス



利用申込みへ

(2) 関係部署支援との連携

ケース①

依頼者がシングルマザー、適切な養育環境とは少し差がある。

⇒今後の生活、養育環境の改善のために、保健センターの保健師とこども支援センターげんき相談員と連携を取りながら、当該事業も並行して行っている。

また、ひとり親向けサロンなど区の支援資源の紹介等も行っている。

ケース②

依頼者の悩みが学校に通うお子さんの勉強進捗のことだった。

⇒こども支援センターげんき教育相談を紹介。

6. 事業実施にあたっての工夫点(1)

(1) コーディネーター業務における工夫点

① サポーターとの良好関係・信頼関係づくりの徹底

訪問が開始したら、サポーターの感じたこと・報告が頼り。気兼ねなく話してもらえるような関係をつくる。

② サポーターの思いに寄り添い、一人ひとりの魅力を伝え、自信を持たせる

特に最初の訪問時前は不安を感じるサポーターさんの思いを丁寧に受け止める。

③ サポーター自身が一人で悩むのではなく、情報をシェアし解決策を導き出す

サポーターの自信が持てない気持ちを認めながら、次回訪問時のアドバイスなどを丁寧に確認。

④ トラブルケースだけでなく、サポーターの成功体験を他サポーターメンバーと共有する

「話を聴く」これだけでママたちはかなり救われることをサポーター自身が実感している。これらを成功体験として、初めての訪問を迎えるサポーターにはこの体験を伝えている

⑤ サポーターが個々の目標を設定するよう促進・達成評価

サポーターからの毎回訪問時の報告の際に、課題を確認し、目標を設定する。

訪問を重ねる毎にクリアになっていく課題をサポーター、コーディネーターで分かち合い評価している。

【評価基準】

人当たり度・他人への印象／依頼者への接し方／目標の達成度／課題・困りごとに向き合う姿勢／傾聴・寄り添度 など

6. 事業実施にあたっての工夫点(2)

(2) 訪問における工夫点

① 先輩ママボランティアならではの支援

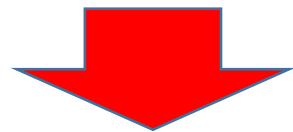
専門職による子育て支援とは異なる、フレンドリーな支え合いが実現／お話を聴いたり、具体的なサポート内容を利用者と一緒に決めるスタンス(何が必要かを決めるお手伝い)

✖「あなたの問題を解決します」 ⇒ ●「あなたの話を聴きます！！」

悩みを解決してあげない・・・けど、話を聴いてもらって、情報もらって、一緒に考えたり、自分で解決みつけたたり！

② 利用者の力を信じて寄り添う

人の心の痛みにも共感、その一言の意味への想像力、安易に同情しない姿勢、エンパワメントへの信頼



ママたちの・・・孤独や孤立の解消、育児の悩みの解消
精神・気持ちの安定、子育ての楽しさを実感、地域とのつながり



- (1) 委託事業者の事務所での傾聴
利用者宅以外でも支援可能とする。
- (2) 利用者の評価
訪問支援による利用者の状況の変化を評価する。
- (3) サポーター及び利用者のデータ化
両者の最適なマッチングに活用する。

ご清聴ありがとうございました。

